

聖マリアンナ医科大学病院における医療従事者業務負担軽減計画 令和5年度（2023）版

病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する具体的取り組み

番号	項目	具体的内容
1	特定看護師・診療看護師の活用	・計画的な増員と配置診療科の拡大検討 ・特定看護師・診療看護師の卒後研修の実施
2	医師の労働時間短縮に向けた取組	尿道カテーテルを看護師が挿入できるシステムの構築
3	プロトコールに基づく看護師による薬剤投与・検査の実施	救急外来・一般外来・内視鏡室および入院病棟でのプロトコールに基づく、検査の実施拡大
4	看護補助者の配置	看護補助者を積極的に配置し、本来の看護業務が十分発揮できるような環境を整備
5	定時処方の薬剤師による代行入力	内容変更がない定時処方、薬剤師が処方オーダーする（集中治療室を除く）
6	注射カートセット業務の充実	薬剤部が定時注射薬のカートセットを土日を含む365日実施する
7	入退院支援センター薬剤師業務の充実	介入患者数の拡大
8	病棟で看護師が実施している薬剤関連業務の委譲できる業務の検討	薬剤師へ業務移行できる内容を検討
9	緊急使用薬等処方薬請求に関する負担軽減	ロボット配送、配置薬の充実等により、薬剤部への医薬品請求負担を軽減する
10	休日対応臨床薬剤師の配置	休日の薬剤関連相談応需、持参薬確認、服薬指導の実施
11	画像センターへの薬剤師配置	放射性医薬品の調製・管理等を行う
12	1日調剤の実施	医師の期間処方に対して1日調剤を実現し、看護師の負担軽減、リスク減少、無駄な医薬品廃棄低減を実現する
13	予約入院患者における栄養スクリーニングの実施およびアレルギー情報の取得	新電子カルテにて、入院初日から栄養部でのアレルギー項目の代行入力方法を検討する
14	検査後食・透析延食の導入	衛生面の問題、食事の無駄削減のため、検査にて定刻に食事がとれない患者に対して、検査後食を導入
15	適正な人員確保	管理栄養士、リハビリスタッフの人員確保
16	管理栄養士の病棟配置	管理栄養士を病棟に配置し、当該病棟の入院患者の食事管理および栄養指導を行う。
17	リハビリテーション診療体制の確立	診療報酬の施設基準を満たす診療体制の確立
18	病棟業務負担軽減	病棟内リハビリテーション実施件数増加を図り、患者搬送業務のリスクと回数軽減を図る。
19	適正な人員確保	新入院棟の整備とスタッフ増員 7日/週リハ体制の調整および「週末リハ」「動画配信自主リハ」の導入と定着
20	血液浄化に用いるバスキュラーアクセスの機能維持のためのエコー等による評価	血液浄化装置の操作を安全かつ適切に実施する上で必要となる血液浄化に用いるバスキュラーアクセスの状態についての超音波診断装置を使用した確認

聖マリアンナ医科大学病院における医療従事者業務負担軽減計画 令和5年度（2023）版

病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する具体的取り組み

番号	項目	具体的内容
21	臨床工学技士の積極的な活用	医療機器の所在データを基にして新病院の医療機器整備に係わる
22	臨床工学技士の当直要員の増員	当直体制安定のため、当直可能な能力を有する対象者の育成
23	ITを活用した医療機器の活用	QRコードから取扱簡易マニュアルや操作説明動画にアクセスできるようにする
24	検査技師による病棟採血	病棟に検査技師を派遣し採血業務を支援する
25	臨床検査技師による採血に伴う静脈路確保、電解質輸液の接続、抜針、止血	厚生労働省の提示した方針に則り、看護学会が取りまとめたガイドラインに合わせ附属病院も含めた対策に従って実施
26	持ち込み画像情報の取り込み、照会先へのCD作成部門の設立	医師がスムーズに画像データを読影できるように持ち込み画像データのPACSへの取り込み、紹介先へのCD-R作成業務等専門で行う部門を設置
27	放射線被ばくの説明と相談	医療被ばく事例報告書を作成、低被ばく化を促進すべく説明や相談を実施
28	放射線治療センター業務でのタスクシフト・シェア	初回照射時のリニアックグラフィーの一次確認
29	透視室業務でのタスクシェア	イレウス管、十二指腸チューブ挿入における医師と協働した調整操作
30	法改正による業務拡大の実現	診療放射線技師で可能となる業務が拡大され、研修を推進する 画像センター内の業務体制の見直しを検討する。
31	病院本館CT室マネジメント業務の改善	緊急単純検査受付業務の事務員による対応
32	法改正による業務拡大の実現	救命救急士の院内での業務が可能となり、厚労省より公示された講習の受講を推進する
33	医師の負担にならない紹介患者受け入れのスムーズ化	紹介患者の受け入れをスムーズにすることにより、医師の業務負担軽減と紹介患者の増加に努める
34	手術室麻酔科医師の実施入力業務補助	手術部業務の効率化のため、医事課保険請求経験者を手術室に派遣し、実施登録画面での麻酔方法、麻酔使用薬剤、保険算定医師の業務負担軽減に貢献する
35	医師事務作業補助者の充実	人数を増員し、医師の事務負担軽減をはかる
36	電話予約変更センターの業務見直し	午前中から予約変更業務を実施
37	医師の外来診察補助業務の拡大	診療アシスタント研修終了後に、予約変更業務を実施
38	紹介状の初回報告書作成業務の拡大	医師事務作業補助者が紹介状初回未作成リストに介入し下書きを作成する
39	医師の働き方改革への対応	勤務実態調査を分析し、連続勤務制限・勤務間インターバルの導入など、長時間勤務への対応策を検討する
40	病院勤務医の負担軽減に資する体制の調査	病院勤務医の負担の軽減に資する体制を整備するため、現状の病院勤務医の勤務状況等を調査する

聖マリアンナ医科大学病院における医療従事者業務負担軽減計画 令和5年度（2023）版

病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する具体的取り組み

番号	項目	具体的内容
41	看護師による医療行為の実施	尿道カテーテルを看護師が挿入できるシステムの構築
42	救命外来による包括指示による実施	救命外来プロトコールに基づく、看護師の検査実施（胸痛に対するECG実施）
43	病棟における事前指示での実施	・患者に対する包括指示に基づく薬剤投与 ・低血糖時に手順書に基づいた看護師によるブドウ糖投与
44	看護記録の業務の効率化	①入退院支援介入：支援対象患者の対応率の上昇 ②PDA機能の拡大に伴う活用
45	メッセージ業務の拡大	・新入院棟・外来部門間の搬送業務を拡大し実施する ・院内の物品の搬送・補充、検体検査室等への移送業務を拡大し、院内の物品運搬システムを夜間帯や休日についても実施
46	搬送ロボットの導入による業務改善	搬送業務に関与する、看護補助者の時間の軽減・看護師を補助する業務確保
47	コメディカルの活用	画像技師による造影剤ルート確保、抜針
48	SPD活用	物流・薬剤の院内物流の外部委託業者の活用
49	病棟における内服薬の簡易懸濁の導入	薬剤部での散剤準備の負担軽減として、病棟での簡易懸濁法による投与の実施
50	術後疼痛管理チームへの参画、業務の実施	薬剤師の術後疼痛管理チームへの参画
51	保険薬局からの疑義照会件数の減少	薬剤部への保険薬局からの疑義照会情報を共有し、医師の負担軽減とリスク現象につなげる
52	救命救急センターへの薬剤師配置	救命救急センターに薬剤師を配置し臨床業務を実施する
53	365日体制検討	365日体制に向け2階救急エリアとSCUで7日/週リハを開始、対象病棟拡大に向けた調整を図る
54	新入院棟歩行補助具の管理	看護部・就労支援室他と協力して調整・管理を行う
55	臨床工学技士のロボット手術（脊椎）立ち合い	臨床工学技士が手術支援ロボットの操作を習得する 手術支援ロボットを操作して術者のサポートを行う
56	CDR作成時のオーダー改善 （マニュアル入力から検査一覧選択への移行）	医師の手入力から一覧選択への移行
57	小児心臓カテーテル検査でのポリコーダー操作	放射線技師に加えて、臨床工学技士がポリコーダーの操作を担当する
58	法改正による業務拡大の実現	救急救命士の実施可能な行為を策定し、自立した業務を行う
59	搬送ロボットの活用に向けた取り組み	搬送ロボット稼働開始に向けた準備を行う。
60	助産師外来の運用開始	助産師外来を設置

聖マリアンナ医科大学病院における医療従事者業務負担軽減計画 令和5年度（2023）版

病院勤務者の負担軽減・処遇改善に対する具体的取り組み

番号	項目	具体的内容
61	患者サポートセンター業務の充実	入院中のリスクを軽減するための、内服薬チェック範囲の拡充
62	消化器手術目的の入院患者に対する術前体液量測定	術前に体液量（In body）測定を実施、栄養状態の評価に活用
63	現行制度下で、薬剤師を積極的に活用する	医師の指示による代行人力など薬物治療に関わる範囲に積極的な支援に活用
64	当直体制の見直し	予定上の連続当直の原則禁止、予定手術前日の当直に対する配慮、当直翌日の業務内容に対する配慮等を行い、管理運営会議・業務負担軽減検討委員会において周知
65	撮影部位の確認・追加撮影オーダー	画像撮影時に、患者に撮影部位を確認し、主治医に連絡し、追加などの指示を仰ぐ
66	処方・注射オーダーシステムの充実	処方・注射オーダー手順の簡略化、約束処方の導入
67	ポータブル撮影の即応体制と誤認防止	ipadを導入し、依頼目的確認・検査終了が行える 病棟のPDA回線で画像配信することで、すぐに画像配信できるようになった
68	手術室での撮影で強調画像付加	全例について強調画像を付加して配信する 術後のガーゼなど異物の体内遺残の発見に寄与できるよう医療事故低減に役立てる
69	入退院業務のサポート体制の強化	入退院支援を更に充実させ、医師・病棟看護師の負担軽減を促進し、体制の強化を行う
70	外国人患者への対応	医療通訳が可能なタブレット端末の導入
71	臨床工学技士の当直	集中治療領域の業務拡大に応じた臨床工学技士によるオンコール体制の充実
72	プラチナナース活用制度の促進	定年退職後の勤務継続看護師の活躍の場の提供 各病棟看護師の患者対応に沿い、看護の質向上に向けたサポート体制
73	ベッドメイキング・ベッド清掃作業員の整備	ベッドメイキング・ベッド清掃担当者を整備し、業務の効率化に貢献
74	病棟内リハビリによる病棟業務負担軽減	病棟内リハビリテーション実施件数増加を図り、患者搬送業務のリスクと回数の軽減
75	臨床工学技士の積極的な活用	医療機器の所在確認のデータを新病院の医療機器整備に活用
76	福利厚生の一層の充実	ワークライフバランスの促進
77	院内保育園の定員充足	拡充した利用定員の効果的な運用
78	医師の短時間勤務制度の導入	女性医師の働きやすい環境を目指して、短時間勤務制度の導入
79	術前外来にて、患者情報、アレルギー情報取得	術前外来にて、入院前に患者情報（身長、体重、栄養スクリーニング項目）、アレルギー情報を取得
80	入退院支援の推進により、入院前に患者情報、アレルギー情報を取得	入退院支援にて、入院予約時に患者情報（身長、体重、栄養スクリーニング項目等）、アレルギー情報を取得
81	読影の補助	消化管造影検査時テクニカルレポート、大腸CT術前CTC作成、乳房撮影レポート作成、健診画像チェックレポート作成等を補助